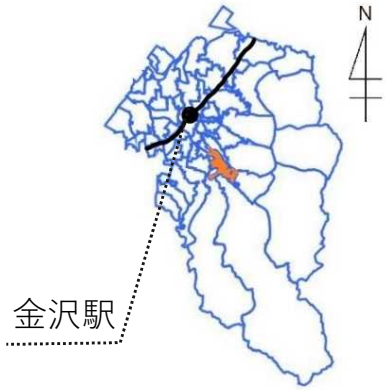


南小立野校区

国勢調査から見える校区のすがた

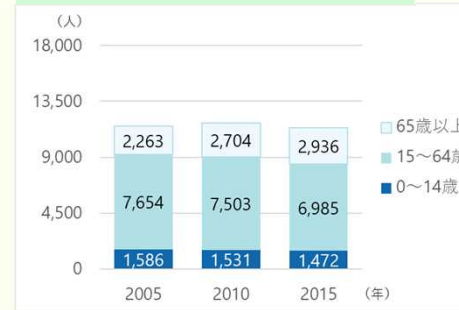
ひとめでわかる



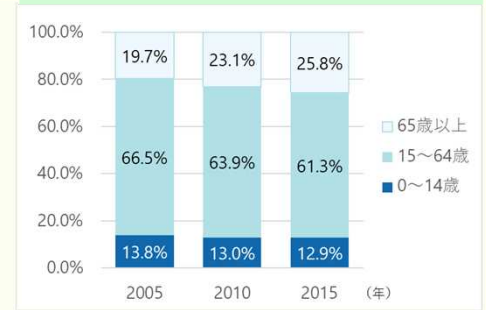
1 人口・世帯数



2 年齢3区分別人口



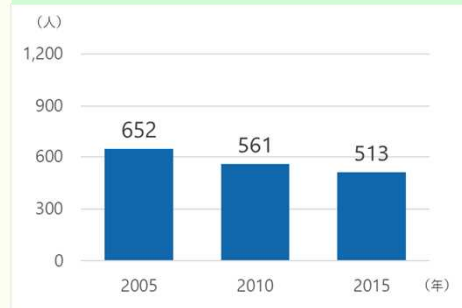
3 年齢3区分別人口割合



4 1世帯当たり人員



5 校区在住児童数[6-11歳]



6 高齢世帯数



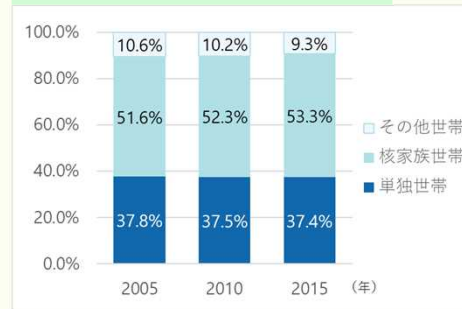
7 住宅の建て方割合



8 家族類型



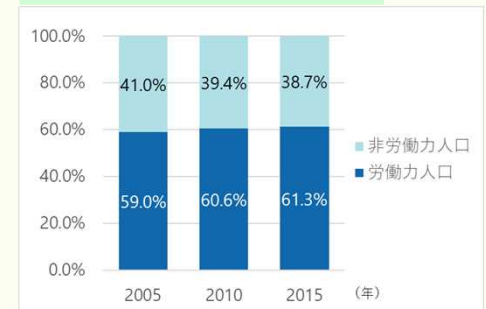
9 家族類型割合



10 労働力人口



11 労働力人口割合



準備中

※ 国から提供される2020年国勢調査の詳細結果を踏まえ、2022年8月頃に公表予定です。

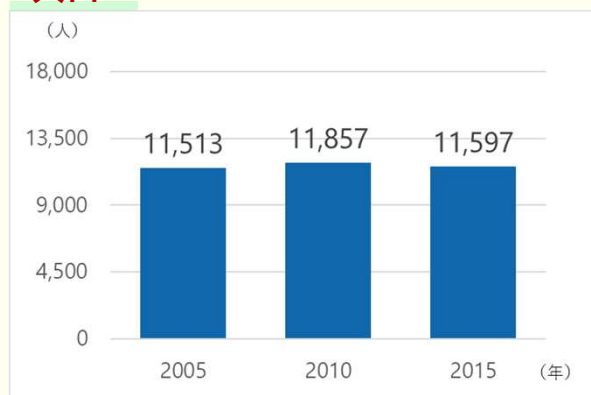
I 概要 人口 11,597人 2010年に比べ▲260人

2015年国勢調査による10月1日現在の南小立野校区の人口は11,597人で、2010年に比べ▲260人となっている。世帯数は4,889世帯で、2010年に比べ+54世帯、1世帯当たり平均世帯人員は2.37人で、2010年に比べ▲0.08人となることから、世帯規模が縮小していることがわかる。

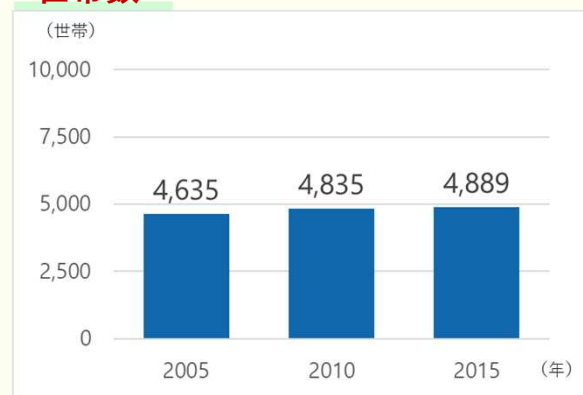
人口（男女別）及び世帯数

年	人口[人]					世帯[世帯]			
	総数	増減数	増減率	男	女	総数	増減数	増減率	1世帯当たり平均世帯人員[人]
2005	11,513	—	—	5,560	5,953	4,635	—	—	2.48
2010	11,857	344	3.0%	5,628	6,229	4,835	200	4.3%	2.45
2015	11,597	▲260	▲2.2%	5,534	6,063	4,889	54	1.1%	2.37

人口



世帯数



2 人口 65歳以上人口が増加

年齢3区分別人口をみると、0～14歳人口は1,472人、15～64歳人口は6,985人、65歳以上人口は2,936人で、構成比はそれぞれ12.9%、61.3%、25.8%となり、2010年に比べ、人口、構成比ともに0～14歳人口と15～64歳人口は減少、65歳以上人口は増加している。2010年との比較を増減数[増減率]でみると、0～14歳人口は▲59人[▲3.9%]、15～64歳人口は▲518人[▲6.9%]、65歳以上人口は+232人[+8.6%]となっている。

また、年齢3区分別人口の構成比の推移をみると、0～14歳人口と15～64歳人口の構成比は一貫して減少し続けており、65歳以上人口の構成比は一貫して増加し続けている。

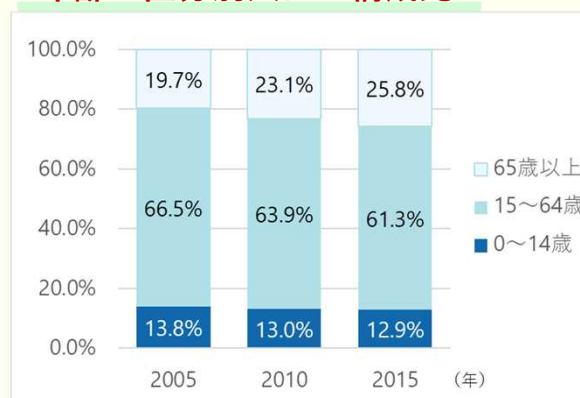
年齢3区分別人口 ※総数には年齢「不詳」を含む

年	人口[人]				構成比				増減率			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
2005	11,513	1,586	7,654	2,263	100%	13.8%	66.5%	19.7%	—	—	—	—
2010	11,857	1,531	7,503	2,704	100%	13.0%	63.9%	23.1%	3.0%	▲3.5%	▲2.0%	19.5%
2015	11,597	1,472	6,985	2,936	100%	12.9%	61.3%	25.8%	▲2.2%	▲3.9%	▲6.9%	8.6%

年齢3区分別人口



年齢3区分別人口の構成比



3 世帯 2人世帯が増加

(1) 世帯数及び世帯人員

一般世帯数は4,870世帯で、増減率の推移をみると、2010年が+4.4%、2015年が+1.0%と一貫して増加し続けている。

世帯人員別の増減率をみると、1人世帯、2人世帯、3人世帯が増加している一方、4人以上の人員の世帯は減少している。

また、世帯人員別の構成比は、1人世帯が37.4%と最も大きく、次いで2人世帯、3人世帯と、世帯人員が多くなるほど小さくなっている。

世帯人員別一般世帯数

年		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
一般世帯数 [世帯]	2005	4,619	1,745	1,047	788	685	206	97	51
	2010	4,822	1,806	1,177	807	664	228	97	43
	2015	4,870	1,823	1,268	814	644	215	76	30
構成比	2005	100%	37.8%	22.7%	17.1%	14.8%	4.5%	2.1%	1.0%
	2010	100%	37.5%	24.4%	16.7%	13.8%	4.7%	2.0%	0.9%
	2015	100%	37.4%	26.0%	16.7%	13.2%	4.4%	1.6%	0.7%
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	4.4%	3.5%	12.4%	2.4%	▲3.1%	10.7%	0.0%	▲15.7%
	2015	1.0%	0.9%	7.7%	0.9%	▲3.0%	▲5.7%	▲21.6%	▲30.2%

3 世帯

(2) 世帯の家族類型

一般世帯数について、その世帯主と世帯員の続柄により家族構成を類型化（家族類型）してみると、「核家族世帯」は2,597世帯と、一般世帯の53.3%を占めており、2010年に比べ+75世帯[+3.0%]となっている。また、世帯人員が一人の「単独世帯」は1,823世帯で、2010年に比べ+17世帯[+0.9%]となっている。

世帯の家族類型別一般世帯数

年		総数	単独世帯	核家族世帯	その他の世帯
一般世帯数 [世帯]	2005	4,619	1,745	2,384	490
	2010	4,822	1,806	2,522	494
	2015	4,870	1,823	2,597	450
構成比	2005	100%	37.8%	51.6%	10.6%
	2010	100%	37.5%	52.3%	10.2%
	2015	100%	37.4%	53.3%	9.3%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	4.4%	3.5%	5.8%	0.8%
	2015	1.0%	0.9%	3.0%	▲8.9%

3 世帯

(3) 高齢世帯

一般世帯のなかで、「高齢単身世帯」は437世帯で、2010年に比べ+106世帯[+32.0%]であり、一般世帯の9.0%を占めている。また、「高齢夫婦世帯」は516世帯で、2010年に比べ+80世帯[+18.3%]であり、一般世帯の10.6%を占めている。

高齢世帯数

年	一般世帯数 [世帯]	高齢単身世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率	高齢夫婦世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率
2005	4,619	267	5.8%	—	359	7.8%	—
2010	4,822	331	6.9%	24.0%	436	9.0%	21.4%
2015	4,870	437	9.0%	32.0%	516	10.6%	18.3%

※ 高齢単身世帯は、65歳以上の一人のみの一般世帯。

高齢夫婦世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯。

4 住宅 持ち家に住む世帯が増加

(1) 住宅の所有関係

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数をみると、持ち家に住む世帯の方が多く、2,771世帯[構成比58.6%]と全体の約6割を占めている。

また増減率をみると、2010年に比べ持ち家に住む世帯が+4.3%、持ち家以外に住む世帯が▲4.1%となっている。

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数

年		総数	持ち家	持ち家以外
実数[世帯]	2005	4,454	2,436	2,018
	2010	4,703	2,658	2,045
	2015	4,732	2,771	1,961
構成比	2005	100%	54.7%	45.3%
	2010	100%	56.5%	43.5%
	2015	100%	58.6%	41.4%
増減率	2005	—	—	—
	2010	5.6%	9.1%	1.3%
	2015	0.6%	4.3%	▲4.1%

4 住宅

(2) 住宅の建て方

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別構成をみると、一戸建に住む世帯が2,763世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の58.4%を占めている。以下、多い順に共同住宅に住む世帯が1,937世帯[構成比40.9%]、その他の住宅に住む世帯が32世帯[同0.7%]となっている。

また増減数[増減率]をみると、2010年に比べ一戸建に住む世帯が+97世帯[+3.6%]、共同住宅に住む世帯が▲41世帯[▲2.1%]となっている。

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別世帯数

年		総数	一戸建	共同住宅	その他
住宅に住む 一般世帯数 [世帯]	2005	4,454	2,472	1,933	49
	2010	4,703	2,666	1,978	59
	2015	4,732	2,763	1,937	32
構成比	2005	100%	55.5%	43.4%	1.1%
	2010	100%	56.7%	42.1%	1.2%
	2015	100%	58.4%	40.9%	0.7%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	5.6%	7.8%	2.3%	20.4%
	2015	0.6%	3.6%	▲2.1%	▲45.8%

5 労働 労働力人口が減少

15歳以上人口は9,921人で、2010年に比べ▲286人[▲2.8%]となっている。労働力人口は5,793人で、2010年に比べ▲93人[▲1.6%]、非労働力人口は3,663人で、2010年に比べ▲165人[▲4.3%]となっている。労働力率は58.4%で、2010年に比べ+0.7ポイントとなっている。

男性の労働力人口が減少している一方、女性の労働力人口は増加している。

		15歳以上人口			労働力人口			非労働力人口			労働力率		
年		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
人口 [人]	2005	9,917	4,745	5,172	5,672	3,228	2,444	3,949	1,295	2,654	57.2%	68.0%	47.3%
	2010	10,207	4,760	5,447	5,886	3,300	2,586	3,828	1,244	2,584	57.7%	69.3%	47.5%
	2015	9,921	4,644	5,277	5,793	3,141	2,652	3,663	1,257	2,406	58.4%	67.6%	50.3%
増減数 [人]	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	290	15	275	214	72	142	▲121	▲51	▲70	0.5	1.3	0.2
	2015	▲286	▲116	▲170	▲93	▲159	66	▲165	13	▲178	0.7	▲1.7	2.8
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	2.9%	0.3%	5.3%	3.8%	2.2%	5.8%	▲3.1%	▲3.9%	▲2.6%			
	2015	▲2.8%	▲2.4%	▲3.1%	▲1.6%	▲4.8%	2.6%	▲4.3%	1.0%	▲6.9%			

※ 15歳以上人口 = 労働力人口 + 非労働力人口 + 労働力状態「不詳」の人口

労働力率 = 労働力人口 / 15歳以上人口

労働力率は、労働力として経済活動に参加している人の比率をみる指標として利用されている。

※増減の単位は[ポイント]

※労働力率は四捨五入のため、増減の表記と計算結果が一致しないことがある。